

会長：半田 稔 幹事：五十嵐 信

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持  
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：西谷 真一 S.A.A.
- ◆会場：大沼デパート



## ロータリー： 変化をもたらす

第**2787**回例会 平成29年**10月16**日(月)



## 会長挨拶

半田 稔 会長



### 指名委員会

10月2日に指名委員会が開催され、3年後の会長候補者として、満場一致で鈴木浩司会員が指名されましたので報告します。また、三澤裕一さんが次年度会長エレクトとして改めて選任されました。

また昨日は7RC親善ゴルフコンペがあり、わが西クラブは団体3位でした。ご参加いただいた会員の皆様、ご準備いただいた職業交流委員会の皆様、ご協力あ

りがとうございました。

### 平山郁夫

さて今日は、9月に広島に行ってきたときの話です。広島カープのセリーグ優勝が決まって最初の休日で、町は至る所赤色に染まり、祝勝ムードにあふれていました。本当に市民に愛されている球団だと思いました。

今回は、レンタカーを借りてしまなみ海道をドライブしました。生口島には、日本画家平山郁夫さんの美術館があります。平山さんはこの島の出身で、幼少期の絵から、仏閣寺院を描いた大作まで展示しており、興味深かったです。平山さんは広島市内の中学に進学し、戦時中勤労働員されている中で、原爆投下の日も広島市の陸軍施設で働いていました。爆心地からは山の陰になり、直接の被害は免れたものの、惨状を目の当たりにして精神的ショックは大きく、また白血球減少という後遺症にも悩まされました。仏教美術の絵が多いのもその影響と言われています。

### 原爆

やはり広島に行くと、原爆のことを意識せずにはいられません。ホテルの周りを散歩しても、原爆に関する慰霊碑やモニュメントがあらこちらにありました。

ところで、原爆投下の候補地は、新潟、京都、広島、小倉、長崎で、アメリカ軍はこれらの都市に対する空爆を禁止していました。人と物資を集めて一気に破壊するという軍事目的と、原爆の破壊力を検証するという科学的目的がありました。広島の人たちも、大阪や福岡で大空襲があるのになぜ広島には無いのか、不思議には思っていたそうです。そこに原爆の投下でした。

続いて、同じく空襲の無かった長崎に原爆が投下され、次は新潟という情報が広まり、県知事が新潟市民に強制疎開を命じ、新潟は終戦直前ゴースタウンのようだった、との話はご存じでしょうか。

京都が目標から外されたのは、アメリカは古都を守ったということで日本人に好印象を与え、戦後の占領政策を円滑に進めようとしたから、と言われていました。ただし、盆地であり、原爆の性能を検証するには最適の地だという意見も、最後まで強くあったとのことです。

やはり原爆投下は、戦争を早く終わらせるためにやむをえなかったというより、実験、そしてソ連に対する牽制という目的が大きかったと思います。最近アメリカでも、原爆投下は誤りだったという意見が増えているそうですが、核兵器廃絶の流れが進めばよいと思っています。

## 幹事報告

五十嵐 信 幹事

- 「ガバナー月信」の6ページにネルソン君の紹介、7ページには西クラブ自慢、15ページに伊藤歩君の入会が掲載されています。
- クラブ協議会が23日、山形グランドホテルで午後6時からあります。
- 今日は第2例会で、ネルソン君の奨学金の日です。
- 長澤裕二さんの財団のマルチプル2回目と、新藤幸紀さんの米山のマルチプル5回目の記念品が届いています。



## 委員会報告

### 米山学友会委員会

芦野 茂 委員長



2800地区米山学友会委員会が、10月14日の土曜日、10時より寒河江のハートフルセンターで、米山奨学生カウンセラーの研修へ参加してまいりました。研修会では、米山奨学会の心構えをしっかりと勉強させていただきました。また、奨学生の皆さまより、モンゴル、韓国、中国の手料理の振る舞いをご馳走になりました。とても美味しく、いただいてまいりました。

会員の皆さまには奨学生をご理解いただき、特別会費のお願いを申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

## 市内ロータリー親善ゴルフコンペ



残念!! 連覇ならず  
市内七ロータリー親善ゴルフコンペが10月15日(日)蔵王カントリークラブで79名参加(当クラブからは13名参加)のもと開催され連覇を目指し大会に臨んだ当クラブでしたが3.2ストロークの僅差で優勝をのがし第3位に甘んじました。参加者全員が来年のりべんじを誓ったようでした。

順位	クラブ名	GROSS	HDCP	NET
優勝	山形北 RC	632	114.0	518.0
2位	山形東 RC	649	129.6	519.4
3位	山形西 RC	637	115.2	521.8
4位	山形 RC	644	117.6	526.4
5位	山形中央 RC	645	111.6	533.4
6位	山形南 RC	684	150.0	534.0
7位	イブニング RC	652	114.0	538.0

## ゲスト卓話

### 『観光の地域連携は 次なるステージに入っている』

(株)アイサイト  
代表取締役社長

馬場 誠氏



皆さん、海外からお客さまをお迎えすることが多いと思います。山形のどこにご案内しますか。ご案内したところにどんな感動がありますか。思い描いてみてください。山寺、蔵王に連れて行ってとか思うかもしれないですけど、じゃあ蔵王の本当の魅力って、誰に頼んだら外国の方に分かりやすく紹介してもらえるでしょうか。山寺に行ったら、山寺の歴史とかをかいつままで分かりやすく外国人に説明してくれたりするのは誰でしょうか。もしくは、社長さん方が都合でご案内できないとき、誰に任せたらそれをやってくれるでしょうか。ちょっと考えてみてください。

「インバウンド」という言葉を聞いたことがあると思います。2015年には2000万人を突破しております。皆さんも周知のことと思います。しかし、東北にどのぐらい入ってきているかというと、全体の1%です。今年の9月までの段階で前年度比147%と伸びている観光地もあると聞いておりますが、山形は実はそれほど伸びていないというのが現状なんです。これが対人口比率で見ると東北のインバウンド市場の数値です。東北は全国の中で人口比率が7.2%になりますが、外国人の延べ宿泊数の比率でいくと0.9%。やっぱり1%しかインバウンド観光で入ってきていないのです。それでも、市内やいろんな観光地、山寺、舟下りに行くと外国人の顔を見るようになってきました。増えたとは思いますが、日本の他の地域はそれ以上にもっと増えているという現状なんです。

国も実はこれを危機的状況と見ておまして、ここ数年、東北への観光復興予算ということで、復興交付金の予算をものすごく増やしております。2015年に、山形県では国の事業である日台観光サミットを開催いたしました。これをきっかけにインバウンドに弾みをつけようということで、山形県内のいろんな観光地を回っていただきました。この結果、台湾からの入込客数が山形県内に増えております。

日本の観光は、国策でこの不景気を打開し、沸騰しているアジアの景気を日本に入れることによって人口減少社会をなんとかしようということでインバウンド、つまり外国人が入ってくるような観光がスタートしました。今は、マーケティングなどを重視したビジネス重視の観光というのが全国では注目されておまして、空前の観光景気になっておりますが、山形県はなかなかそうならないというのが現状です。山形では新しい地域連携のステージを今、模索しております。DMOという取り組みを聞いたことあるでしょうか。行政は一生懸命観光PRでポスターやチラシを作っているいろんな所でキャンペーンするんですけど、キャンペーンされた方は「どうやって山形に行けばいいんだろう」「何を買いえばいいですか」という質問をするだけで、実はなんにも売ってないんです。ですから、山形に来ようがないんです。そこで、2010年に「花のやまがた観光県」を7市7町で、観光協会とか行政の枠を取っ払って、人と人がつながってビジネスができる仕組みづくりを目指して、連携を始めました。

それで今般できたのが、山形版DMOということ。上山と山形と天童が連携して組織を作りました。ここだけで山形県内の宿泊の65%が受け入れ可能です。ここがまず連携して、ひとつビジネスができる組織、DMC「おもてなし山形」という会社を今年の3月31日に設立いたしました。これで民間は3市連携で協議会を作って、そ

して問題点を解決しながら、かたや「DMC」、「おもてなし山形」ではきちんとビジネスとして、具体的な商品を作ろうという2つの組織を作りました。仙台空港から入って、山形空港からアウトしたり、庄内空港からアウトしたりするような、そういった大きい流れの取り組みをしようというような仕組みがやっと出来ました。

では、どうしたら山形の観光が世界に通じるようになるのかを考えたいと思います。村山市は居合道の発祥の地です。日本刀の真剣を使って体験できる場所は、日本に3カ所しかありません。公的なところは1カ所もありません。これが仮に、村山で3泊4日とか4泊5日とか、体験して何十万円という費用で参加して、免許がもらえたり、なんか印をもらえたりしたらどうなるだろうというのがこの取り組みです。こういう本当の日本の心に触れるというのをプログラム化して、窓口が1つになって、申し込むと参加できるという、こういった仕組みを作ることが実はとても大事なんです。

冒頭、皆さんにお尋ねしました。「お客さまをどこへお連れしますか」。その時に任せられる所、ないと思いませんか。本当に山形の価値のあるものは何かという仕組みで、ものを作り上げていけないといけない。観光じゃないものが実は観光になるというのが、ここのことです。それで、地元ならではの感動体験を定番商品化して仕入れられるようにしないとダメです。本物にいつでも、誰でも、1人でも体験できる仕組みづくりにする。これが意外とできそうでできないんですよ。徹底したエンターテインメント性で、楽しくて感動して忘れられなくなるようなプログラムをきちんと作り上げること。そしてそれは人が関わるので、かなり利益率の高いもの、そして儲けの幅があるものです。そうすると何人かの手にわたって紹介いただいても、きちんとリベートを払ってでも手元に利益が残るようなことを考える必要があります。

従来の観光じゃないものが世界に通じる時代です。経済界のビジネス感覚というものが実は観光に求められているのです。どんなビジネスモデルにつなげていってか全産業の知恵を結集していくべき時が今なんだと思います。ぜひ皆さんにいろいろお声をかけていただきながら、新しい観光で山形に誘客していく必要があると思います。

## ニコニコBOX

社会奉仕委員会一同／芋煮会の際に鈴木一作ガバナーと須藤吉実ガバナー補佐から御祝をいただきましたので、ニコニコします。

半田 稔さん／ゴルフコンペご参加いただいた皆様、ご準備いただいた職業交流委員会の皆様、ありがとうございます。

高橋勝治さん／昨日、ZAO C. Cにて7RCの親善ゴルフコンペが開催され、第3位になりました。参加されました皆様に、感謝しニコニコします。

高嶋俊幸さん／昨日行われました7ロータリーゴルフコンペに参加させていただき、ニアピンとドラコンを1つずつ取らせていただきました。ドラコンにつきましては、半田会長→高橋昌之さん→浦口さんと続いていた西クラブの諸先輩方を差し置いての取得ということで恐縮しております。生涯2回目、約15年振りの蔵王カントリーでのプレーでしたが、蔵王カントリー特有の難しさにやられ、思うようにスコアを伸ばせませんでした。楽しくプレーさせていただきました。また、次回参加させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

長澤裕2さん／3人の子どものそれぞれに2人ずつの孫に恵まれ、今回の6人目は女の子。3人とも、男と女ひとりずつ、上手に産み分けました。

戸田正宏さん／アイドルを目指している中3の孫が本格的メジャーデビューしました。土曜深夜YTSテレビ「ラストアイドル」に出演しています。皆さんの応援をよろしく願います。

### <本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (10/2)	102名	57名	修正出席 (9/30)	102名	86名	80名	93.02%
メイクアップされた会員	なし						